



平成29年度
看護学生のための
地域医療体験研修 報告集

研修日 平成29年8月3日（木）～8月4日（金）

福島県会津保健福祉事務所
福島県南会津保健福祉事務所

目 次

1	実施要項	1
2	スケジュール	2
3	特別養護老人ホーム福柳苑見学及び介護体験	3
4	入院患者へのインタビュー、看護職との意見交換、 県立宮下病院見学	5
5	地域おこし協力隊との交流	7
6	学生によるディスカッション	8
7	看護職との懇談	9
8	通院患者へのインタビュー、朝日診療所見学 医師との懇談	10
9	研修のまとめ、発表	12
10	参加者の体験談	15

1 実施要項

1 目的

地域医療に関心を持つ看護学生に対して、地域医療の見学や看護職等との意見交換、また、地域の文化やそこで暮らす住民と直接触れ合う場を提供することにより、過疎・中山間地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。

2 開催日 平成29年8月3日（木）～8月4日（金）1泊2日

3 対象者

会津管内の看護学校に在籍し、地域医療に関心を持つ学生（高校生を除く）

4 参加者

9名（竹田看護専門学校 4名、仁愛看護福祉専門学校 5名）

5 内容

（1）地域医療を担う医療現場（高齢者施設含む）を知る

奥会津地域の医療現場を見学し、地域医療への理解を深める。

〔見学予定先〕福島県立宮下病院、特別養護老人ホーム福柳苑（柳津町）

只見町国民健康保険朝日診療所（只見町）

（2）地域で働く看護職等の実情を知る

看護職等との意見交換や懇談を通じて、地域で働く看護職等の生の声を聴くことにより、地域医療を支える看護職への理解を深める。

（3）地域で生活する人の現状を知る

通院患者との面接により、疾患を持ちながら地域で生活している人々への理解を深めるとともに、地域おこし協力隊との交流を通じて、過疎・中山間地域における生活の現状について理解を深める。

6 宿泊場所 ゆの宿松屋

（住所：只見町大字只見字新町 2064 電話 0241-82-2290）

2 スケジュール

月日	時間	行程	場所
	9:00	会津保健福祉事務所 集合	9:15 出発
8月3日 (木)	9:15～10:00	移動 (会津若松市→柳津町)	
	10:00～13:30	特別養護老人ホーム「福柳苑」見学 施設の概要説明、入所者との交流及び 食事介助などを体験	福柳苑(柳津町)
	13:30～14:00	移動(柳津町→三島町)	
	14:00～16:30	通院患者へのインタビュー、 看護職との意見交換、病院見学 地域おこし協力隊との懇談	県立宮下病院(三島町)
	16:30～17:30	移動 (三島町→只見町)	
	17:30～18:30	学生によるディスカッション	ゆの宿松屋(只見町)
	18:30～20:00	地域の看護職等との懇談(夕食)	↓
	8月4日 (金)	7:00～ 8:45	朝食・準備
8:45～ 9:00		移動	
9:00～12:00		診療所の概要説明 通院患者へのインタビュー、診療所見学	只見町国保朝日診療所
12:00～13:00		昼食(医師と会食)	↓
13:00～14:30		研修まとめ(グループワーク、発表)	
14:30～16:30		移動 (只見町→会津若松市)	会津保福 16:30着
16:30		会津保健福祉事務所 解散	



3 特別養護老人ホーム福柳苑 見学及び介護体験

【日時】 8月3日(木) 10:00~13:30
【場所】 特別養護老人ホーム福柳苑(所在地:河沼郡柳津町大字飯谷字前林甲370)
【目的】 施設の概要や見学、利用者とのコミュニケーション、スタッフとの意見交換を通して、過疎・中山間地域での介護施設の取組や高齢者の生活状況を理解する。

□ 施設の概要説明



特別養護老人ホーム福柳苑
目黒 正一 施設長

□ セタの飾り付けをしながら、入所者との交流

交流センターで利用者一人に学生一人がつき、一緒に飾りを付けながら交流。今回の研修のスタートで緊張気味でしたが、作業をしながらだったのでコミュニケーションが取りやすく、入所者も笑顔で接してくれました。



きれいに仕上がりました

□ 2班に分かれて入所者との交流及び介護体験入所者との交流及び介護体験

< A 班 >

ラジオ体操、食事介助、交流



< B 班 >

食事介助、交流



□ 施設職員との懇談、質疑応答

(出席者) 目黒施設長、荒川主任看護員、田中主任生活相談員

昼食を摂りながら、介護体験を通しての質疑応答や施設での仕事の内容、職員間のコミュニケーション等に関して懇談を行いました。



【参加者の声（事後アンケートより）】

- 最初は緊張しましたが、患者さんとコミュニケーションをとったり一緒に作業することができて、とても楽しかったです。話をしているうちに、どんどん入所者の方からお話をしてくれてうれしかったです。100歳を超えている方が2名いらっしゃいましたが、とても元気で、自分でご飯を食べたりしていたのが印象的でした。
- すごくきれいな施設で驚きました。高齢化が進んでいる地域なのに、皆さん元気で驚きました。初めての食事介助はとても印象に残る体験で、入所者とのコミュニケーションや好き嫌いを把握しておく等学ぶべき点がたくさんあって、いい経験でした。
- セタの飾りを一緒に飾ったり、準備体操を一緒にできたりして、とても勉強になったし楽しかったです。職員の人の説明もわかりやすく、課題も伝わってきました。
- 誤嚥リスクのある利用者さんの食事介助を行い不安でした。しかし、実際に行われている援助を体験でき、勉強になりました。

4 入院患者へのインタビュー、 看護職との意見交換、県立宮下病院見学

- 【日時】 8月3日（木） 14:00～16:00
【場所】 福島県立宮下病院（所在地：大沼郡三島町大字宮下字水尻 1150）
【目的】 ①入院患者へのインタビューを通して、へき地で医療を受ける人への理解を深める。
②病院の概要説明及び施設見学を通して、へき地病院の持つ役割について知識を深める。
③地域医療に従事する看護職から、地域医療に対する考え方や体験談などを聞き、意見交換を行い、地域医療への理解を深める。

□ 病院長のお話



県立宮下病院
浅野 宏 病院長

□ 病院の概要説明



県立宮下病院
木村 幸子 看護部長

□ 入院患者さんへのインタビュー

3グループに分かれてお話を伺いました。



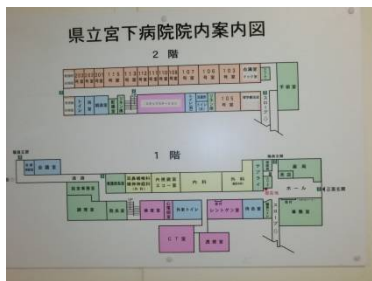
□ 看護職との意見交換

(出席者) 木村看護部長、押部看護師長、舟木主任看護技師、遠藤副主任看護技師
大竹看護技師

看護師になって良かったこと、大切にしていること、大変なことなど多くの質問や意見が出されました。



□ 病院内見学



【参加者の声（事後アンケートより）】

- 実際に過疎地域の病院を見学して、実習病院とは違う風景も見ることができて良かったです。奥会津で看護師として働いても、過疎地域だからといってことはなく、楽しそうでした。
- 将来なりたい職業の人のお話を間近で聞いて、とてもためになりました。患者さんとのお話が何を話していいかわからなくて、焦りました。
- ソーシャルワーカーなど専門職が少ないために、看護師の仕事が増えてしまっている現状を知ることができました。しかし、全て退院後のことも、患者さんのことをよく知っている担当の看護師と一緒に考え、患者さんの意向を尊重することができるメリットもありました。地域と言うことで人員が少なく不便なことばかりだと思いましたが、良いところ、メリットもあることに驚きました。
- 地域に密着している宮下病院の良さを、たくさん聞くことができました。
- 患者さんへのインタビュー時間があっという間で、もう少しじっくりお話ししたかったです。看護職との意見交換は、自分にとってとても良い時間でした。たくさんの貴重なお話をいただき、自分の将来について考えることができました。

5 地域おこし協力隊との交流

- 【日時】 8月3日（木） 16：00～16：30
【場所】 福島県立宮下病院（所在地：大沼郡三島町大字宮下字水尻 1150）
【目的】 奥会津地域で生活し、活動している地域おこし協力隊から、活動の内容や生活をしていく上での困っていること、助かっていること等話を聞くことで、過疎・中山間地域での生活の現状について理解を深める。

奥会津地域おこし協力隊の志賀 薫さんから、活動の紹介や奥会津での生活、住んでの印象などお話があり、その後意見交換を行いました。



奥会津地域おこし協力隊
志賀 薫 さん

【参加者の声（事後アンケートより）】

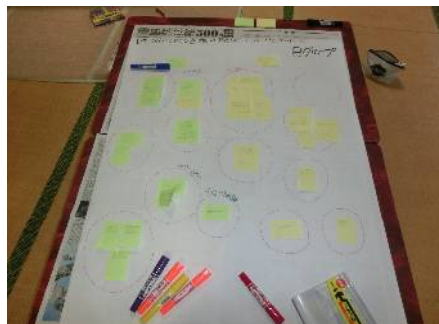
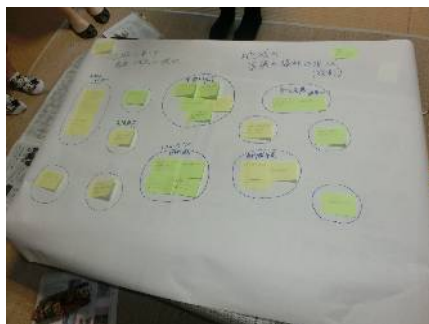
- 地域について深く知ることができたと思います。違う視点から地域を見た体験談が面白かったです。
- 地域おこし協力隊がどのような活動をしているのか、詳しく知ることができました。また、奥会津の風土についても聞くことができたので良かったです。
- その地域の良さを知れて良かったです。自分も地域おこし協力隊の活動を試みたいと思いました。
- 自分が思っていたよりも奥会津は住みづらい現状にあると思いました。お店が遠かったり病院が近くなる、救急車が来るのに一時間もかかることに驚きました。もしものことがあっても、すぐに十分な医療を受けられないということはとても不安だろうなと思いました。

6 学生によるディスカッション

- 【日時】 8月3日（木） 17：30～18：30
【場所】 ゆの宿松屋（所在地：南会津郡只見町大字只見字新町 2064）
【目的】 下記テーマについて、学生間でディスカッションを行い、地域医療についての見識を深める。
【内容】 テーマ「地域における医療の現状について、気づいたこと」
（進行：会津保健福祉事務所健康福祉部 黒田主幹）

□ 学生によるディスカッション

「地域における医療の現状について、気づいたこと」をテーマに、黒田主幹の進行で2グループに分かれディスカッションを行い、発表しました。



【参加者の声（事後アンケートより）】

- 同じ体験をした中でいろいろな意見が出てきて、「なるほどな」と思うことがたくさんあって勉強になりました。ちゃんとしたコミュニケーションも初めてとれたので良かったです。
- 周りの人の意見を聞くことで自分では気づけなかったところに気づけて良かったです。
- グループメンバー全員が主体的に参加できたと思います。
- 他校の方と関わることができて良かったです。意見をまとめることで、より考えさせられるし、内容が深まりました。
- 自分とは違う意見がたくさん聞けて良かったです。他校の人たちとの仲も深まりました。

7 地域の看護職との懇談

- 【日時】 8月3日(木) 18:30~20:00
【場所】 ゆの宿松屋(所在地:南会津郡只見町大字只見字新町2064)
【目的】 地域医療に従事する看護師から、地域医療に対する考え方や体験談などを聞き、意見交換を行い、地域医療の見識を深める。

ゆの宿松屋にて、只見町国保朝日診療所の五十嵐看護師長、本名副看護師長と只見町保健福祉課の菅野主任保健師に参加いただき、地域医療に対する考えや体験談などを聞き、意見交換をするなど、地域医療に対する見識を深める時間となりました。



只見町国保朝日診療所
五十嵐 千恵子 看護師長



只見町国保朝日診療所
本名 加代 副看護師長



只見町保健福祉課
菅野 聖子 主任保健師



【参加者の声(事後アンケートより)】

- ・緊張しました。でも、学生時代の話やいろいろな話が聞けて良かったです。
- ・普段聞くことができない踏み込んだお話も聞くことができました。地域と都市部の医療やケアの違いを知ることができました。地域医療では一人一人の患者さんと密接に関わることができるので、一人一人に合ったケアをすることができると思いました。
- ・「診療所」は私にとって遠い存在だと考えていましたが、詳しくお話を聞けて良かったです。しかし、話を聞くのに夢中になり、夕飯があまり進みませんでした。
- ・自分の聞きたかったことを気軽に聞ける場で、とてもありがたい時間でした。
- ・たくさんの経験を積んだ看護師、保健師の話を知ることができて、自分の将来が少しずつ見えてきた気がしました。
- ・じっくりお話を聞けて良かったです。ご飯もとてもおいしかったです。

8 通院患者へのインタビュー

診療所見学、医師との懇談

【日時】 8月4日（金）9：00～13：00

【場所】 只見町国民健康保険朝日診療所

（所在地：南会津郡只見町大字長浜字久保田31）

【目的】 診療所の概要説明及び施設見学を通して、へき地診療所の持つ役割について理解を深める。

□ 通院患者へのインタビュー

外来患者さんへ声をかけ、受診の目的や交通手段等お話を聞いたり、診察場面への同席、薬局への同行等経験しました。



□ 診療所の概要説明



五十嵐 千恵子 看護師長

□ 診療所の見学



【参加者の声（事後アンケートより）】

- 朝日診療所に通う方々は顔見知り同士が多くて、病気だったりするにも関わらず、元気で笑顔が見られ良かったです。
- 診療所の良さや、只見で過ごすにあたって大変なこと、困っていることを聞くことができました。
- 思っていたよりも広くてきれいでした。「病院が近くにない奥会津でも、診療所があるということですぐに診てもらい、薬をもらえるので安心だ」と教えてくれる患者さんがいました。診療所は医師、看護師、患者さんの距離が近く、温かい場所だと思いました。
- 出会って間もない人とのペアで、長い時間のインタビューは「時間が持つか」と思ったのですが、時間が足りないくらい患者さんもたくさんお話をさせていただき、充実した時間でした。患者さんも職員の方も皆さん雰囲気良く、体験、見学できて良かったです。
- 元気な人ばかりで、学生の方が元気をもらえました。すごく楽しい時間でした。

□ 医師との懇談（若山 隆 院長、森 冬人 医師）

昼食を摂りながら、学生の質問に先生方が気さくに答えていただきました。



若山 隆 院長



森 冬人 医師



【参加者の声（事後アンケートより）】

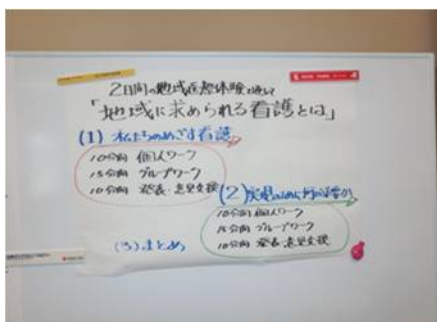
- 普段学校で勉強している内容だけでは分からない、現場の実情を生で聞いて本当に良い体験になりました。
- 医師と話す機会はなかなかないので、とても貴重なお話を聞くことができました。診療所と病院の違いやメリット、デメリット、これからの診療所のことなども聞くことができました。イメージしていたよりも働きやすく、休みも十分に取れることに驚きました。
- 只見町ならではのことや、医師として苦労していることなど聞くことができ良かったです。
- お二人とも楽しく質問に答えて下さったので、こちらとしてもとても楽しい時間でした。時間もちょうど良かったと思います。

9 研修まとめ、発表

- 【日時】 8月4日（金）13：00～14：30
【場所】 只見町国民健康保険朝日診療所
（所在地：南会津郡只見町大字長浜字久保田 31）
- 【目的】 地域医療体験研修に参加して感じたこと、学んだこと等をまとめ、発表する。
- 【内容】 テーマ 「地域に求められる看護とは」
（進行：会津保健福祉事務所健康福祉部 黒田主幹）

○研修のまとめ、発表

「地域に求められる看護とは」をテーマに、黒田主幹の進行で2グループに分かれ、私たちの目指す看護とそのために必要なことについてディスカッションを行い、発表しました。



【参加者の声（事後アンケートより）】

- ・グループのみんなで必要な看護やこれから何をすべきなのかについて意見を交換したり、考えたりすることができました。学んだことや分かったことを整理してまとめることで見えてくるもの、分かるものがあると思い、とても大切な作業だと思いました。
- ・全員の意見や考えをまとめ、関連させていくことでつながりができていきました。
- ・もう少し自分の感じたことや考えたことを整理できる時間が持てたら、より活発なグループワークができたのではないかと思います。
- ・同じ体験をしていますが、違う視点から見ると「あー、確かに」と思う部分があって、意見交換できて良かったです。
- ・全員でまとめをして発表するのはおもしろかったです。

「私たちのめざす看護」 Aグループ

患者を自分の大切な人だと思って看護する

- ・患者一人一人を知る
- ・患者さん一人一人と深く関わりを持てる看護をしたい
- ・一人一人の患者と密接に関わる看護
- ・丁寧な看護(一人一人の患者さんと向き合って話ができる)
- ・患者さんの人生に寄り添う看護

→ 頼りやすい、
頼りにされる看護

- ・看護師同士や介護士との連携がとれる看護
- ・他医療職種との連携を円滑にし、包括的にケアする看護
- ・十分なケア、医療を受けてもらえるような幅広い看護

- ・地域住民と健康づくり活動を一緒に取り組む。地域の人に寄り添う看護
- ・地域に根ざした「関わり」を大切にする看護

- ・豊富な知識、技術
- ・看護技術の向上を忘れない
- ・経験を深める
- ・勉強する
- ・幅広い視点

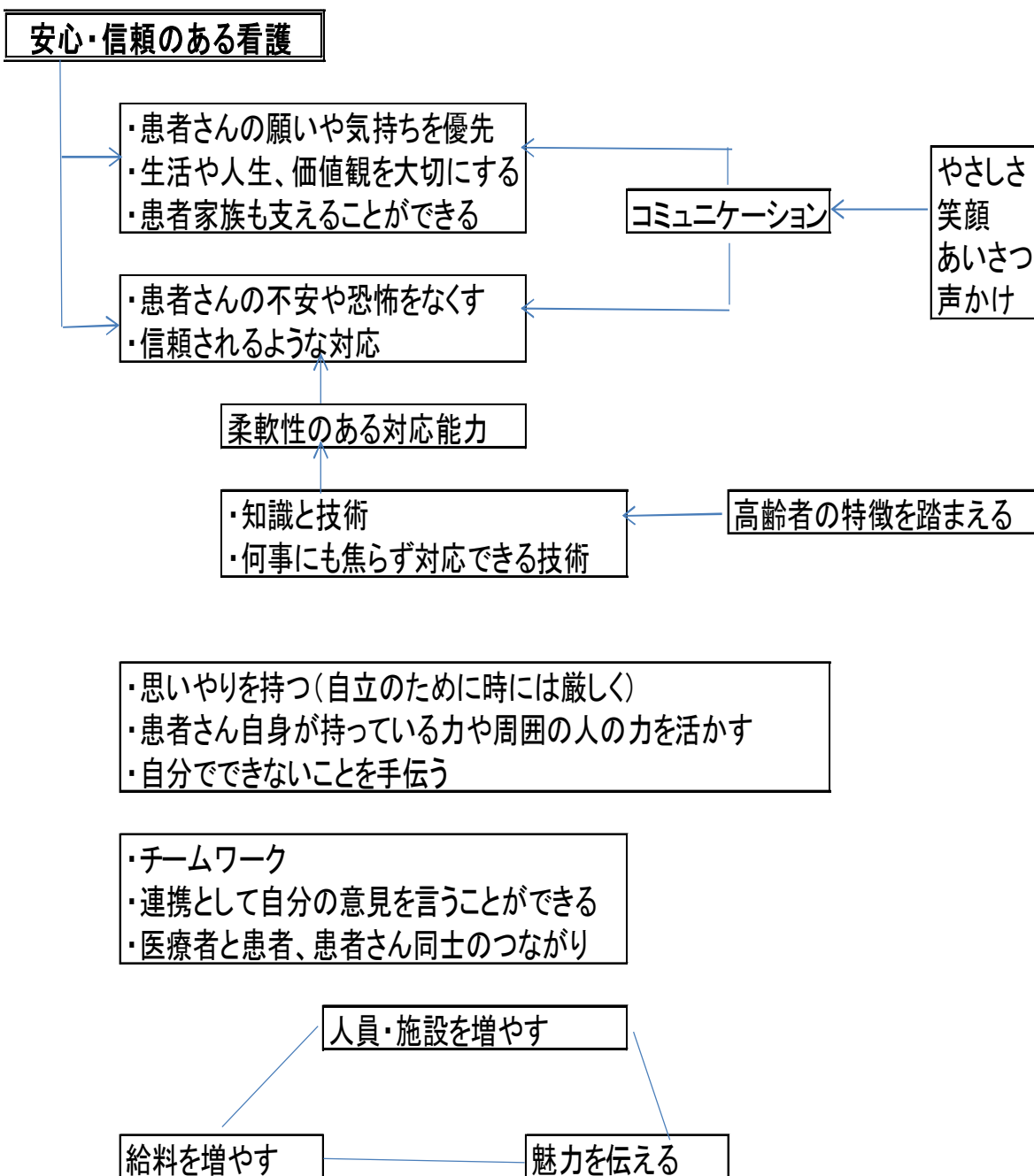
- ・コミュニケーションを取ることを大切に
- ・コミュニケーションを取り、患者さんのことを知る

- ・患者の意見を尊重する
- ・患者の要望にできるだけ答える

- ・柔軟な対応力
- ・患者さんとふれあう、関わる時間を増やす
- ・病院、診療所に行けない人のために訪問する



「私たちのめざす看護」 Bグループ



10 参加者の体験談

〔体験談①〕

「地域医療」について、言葉では何度も聞いたことがありましたが、具体的にどのようなサービスが必要なのか、現状と課題は何なのかを知りたかったため研修に参加しました。

町唯一の病院や診療所、特別養護老人ホームを見学し、利用者や医療従事者から話を聞いた際に、新しい気づきがありました。「患者さんの人生に寄り添うことができる」と看護師の方が言っていたのが強く印象に残っています。その言葉のように、地域医療は患者さんだけでなく、その家族や周りの人に寄り添い、「関わり」を大切にしたものでした。そして、デマンド交通システムがあったり、看護師が他のコメディカルの役割を担っていたり、患者さんが孤立しない環境を作る取り組みがある現状を知りました。

実際に現地に行って、向上心を常に持ち、熱い気持ちで日々住民に接する医療従事者の姿を見て、大変刺激を受けることができ、うれしく思いました。

〔体験談②〕

へき地における医療には限界がありますが、その中でも、医療者と患者さん、または患者さん同士のつながりが強く、医療に対する不満が少ないことを知りました。そして、医療や看護において、ただ治したり延命することだけでなく、それまでの過程や内容が大切であることを学びました。

〔体験談③〕

他校の学生とグループワークをしたり、地域のことを学ぶことができ、とても勉強になりました。看護について、自分に力がついたら地域にとって役立てるようにしたいと思いました。

〔体験談④〕

最初はとても緊張しましたが、今思えばとてもいい経験だったと思います。施設見学だけでなく、職員の人たちや外来患者さん、施設入所者の人たちといろいろなお話ができて良かったと思います。保健福祉事務所の方みなさんも笑顔が素敵でほっとしました。場の雰囲気盛り上げて下さって、本当に楽しかったです。みんなとの仲も深まりました。

外来患者さんや入院患者さんとお話をする機会がありましたが、何を話していいかわからなくて、とても不安でした。

あと、欲を言えば、食事の時は友達と楽しく緊張感を持たずに食べたいです。少し遊びや観光の時間もあればいいかなと思いました。少しの時間でしたがお世話になりました。ありがとうございました。

〔体験談⑤〕

私は今回初めて地域医療について学びました。地域医療は人手が足りなく、十分な医療を提供できない状態にありますが、診療所などが身近にあることで患者さんが安心したり、一人の患者さんの全てを一人の医師が診ることが多く、より医師・看護師と患者さんの距離が近くなっていると感じました。地域医療はマイナスな部分だけでなく、それ以上に地域医療ならではの魅力があることを知りました。

私は今まで過疎地域で働くことはあまり考えていませんでしたが、今回の研修でたくさんの方からお話を聞いたり、施設・病院・診療所を体験して、過疎地域で働いてみたいと感じました。今回の研修で、地域医療の良いところや魅力を知ることができて良かったです。

研修での経験と学んだことを忘れずに、良い看護師になれるように頑張ります。今回はこのような素晴らしい機会をさせていただき、ありがとうございました。

〔体験談⑥〕

今回の研修に参加して、地域医療について様々なことを学ぶことができました。言葉では知っていてもイメージがわかenかった地域医療の現場でしたが、大きな病院にはない良さを知ることができました。2日間あっという間に過ぎてしまいましたが、貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

〔体験談⑦〕

自分の将来の道が見えてきました。知らなかったことを学べたりして、思っていた以上の体験ができました。ありがとうございました。

〔体験談⑧〕

夏休みを充実させることができたし、学びが多い研修だと思いました。一年生ながら経験することもたくさんあり、何より、これから不安なことがあるけれど看護職の方々にアドバイスを頂けて良かったです。

実習病院以外の見学は、違ったところも見ることができるし、地元の良さが感じられると思いました。改めて奥会津の病院、診療所の良さが伝わりました。



平成29年度 看護学生のための
地域医療体験研修 報告集

平成29年 9月21日 発行



福島県 会津保健福祉事務所
福島県 南会津保健福祉事務所
総務企画部 総務企画課
電話番号 0242-29-5506
F A X 0242-29-5509
aidu.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp